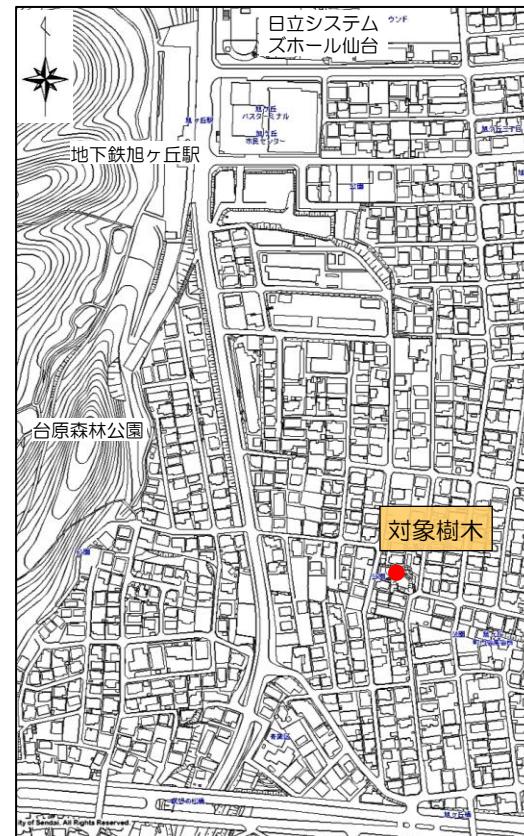


1. 対象樹木

(1) 概要

指定番号	198	指定年月日	平成11年7月16日		
呼称	旭ヶ丘の一本松				
樹種	アカマツ				
推定樹齢 (指定時)	約200年	樹高 (R3調査時)	11 m	幹周 (R3調査時)	283 cm
所在地	仙台市青葉区旭ヶ丘2-36				

(2) 位置



2. 樹木の由緒

本樹木は、旭ヶ丘団地を一望できる公園内にあり、地元のシンボルになっている。

この公園の名前は、この松にちなんで「一本松公園」であり、旭ヶ丘団地造成を記念して、古木であった本樹木を取り囲む形で平成3年に整備を行い、平成4年に開園した。

写真1
小高い丘の頂きに立つ松



3. 経過

時期	内容	備考
平成11年7月	保存樹木指定	
平成12年～	樹勢診断(一斉調査)	5年おきに実施。樹勢良好
平成29年2月	松枯れ防止樹幹注入	松枯れ防止樹幹注入剤(7年有効)使用
令和3年9月	樹勢診断(一斉調査)	樹勢良好
令和5年10月	松枯れの兆候あり	公園管理者(青葉区公園課)確認
令和6年1月	松枯れ防止樹幹注入を見送り	樹勢が悪化したため、樹木への影響を考慮し、薬剤注入を中止
令和7年5月	枯死	公園管理者(青葉区公園課)確認



写真2 令和3年10月撮影



写真3 令和5年12月撮影

4. 指定解除の理由

令和3年度に実施した樹勢診断では、診断を行った樹木医の所見で「樹勢はとても旺盛で欠点は見当たらない。枝枯れは無く、葉の大きさ、形、伸長量とも正常で、健全な状況で生育している」と記載されるほど良好な診断結果であったが、令和5年度秋頃から枯損が目立つようになり、同年度の冬に実施予定だった松枯れ防止剤の樹幹注入を樹木医の助言により見送ったほど状態が急激に悪化した。

その後、樹勢が回復せず、令和7年度に完全に枯死したため、指定を解除するもの。

5. 樹木の状況



写真4 令和3年10月撮影 全景（北東側から）



写真5 令和7年8月撮影 全景（北東側から）



写真6 令和7年7月撮影 枯損状態

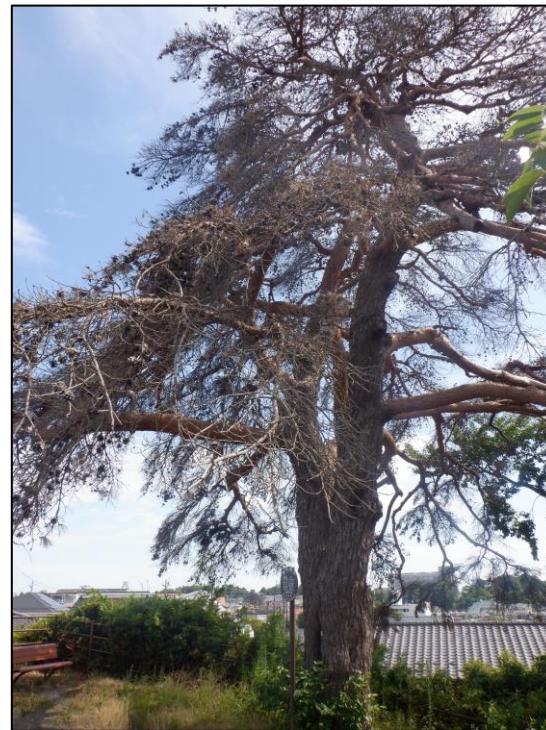


写真7 令和7年7月撮影 枯損状態



写真8 幹の状況（全体にキノコが生えており、完全に枯死している）